

2026年 5月 27日

各 位

株式会社アルファシステムズ  
代表取締役 竹原 政義  
(証券コード 4719 東証プライム)

## 株式会社アルファシステムズ、GDP「サプライヤーエンゲージメント評価」で 2年連続の最高評価を獲得

株式会社アルファシステムズ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：竹原 政義）は、環境情報の開示を推進する国際的な非営利団体 CDP（※1）による 2025 年度の「サプライヤーエンゲージメント評価」において、最高評価である「A」スコアを獲得いたしました。最高評価の獲得は 2 年連続となります。



「サプライヤーエンゲージメント評価」は、企業のサプライチェーンにおける気候変動問題への取り組みを評価するもので、CDP 質問書の気候変動セクションで報告された「目標」、「サプライヤーエンゲージメント」、「Scope3 排出量」、「リスク管理プロセス」「ガバナンスとビジネス戦略」が評価対象となっております。最高評価である「A」スコアを獲得した企業は、CDP のリーダーボードに掲載されます。

なお、当社は 2025 年度 CDP の「気候変動」分野の総合スコアでは「B」を獲得しています。

### ■当社の環境への取り組み

当社は 2021 年 12 月に、2030 年までの中長期環境目標を策定しております。当社の「ソフトウェア開発関連事業」からの温室効果ガス排出については、国際的な温室効果ガス排出定義 (Scope) 別に算定した排出量をもとに削減目標を設定し、排出量の削減に取り組んでおります。2024 年度には C-Turtle<sup>®</sup>（※2）を導入し、サプライチェーン排出量の算定方式をこれまでの二次データを

利用した算定方式から一次データを利用した算定方式（総排出量配分方式）に切り替えることで、サプライチェーン全体での温室効果ガス削減を進めております。

2025年度においても、こうした当社の気候変動への取り組み姿勢が高く評価されたと捉えております。今後も当社は企業価値の向上と地球社会との調和を図るべく、環境への取り組みを積極的に推進してまいります。

※1 CDP : 英国の慈善団体が管理する非政府組織（NGO）で、投資家、企業、国家、地域、都市が自らの環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムを運営。

※2 C-Turtle<sup>®</sup> : 株式会社 NTT データ様の GHG 排出量可視化プラットフォーム。サプライチェーン全体の排出量算定において、CDP が保持する一次データを活用できるため、サプライヤーの削減努力を反映した算定が可能。

## ■本件についてのお問い合わせ先

株式会社アルファシステムズ 経営企画本部 広報室

神奈川県川崎市中原区上小田中 6 丁目 6 番 1 号

Tel : 044-733-4111 FAX : 044-739-1100 E-Mail : ir@alpha.co.jp